

なるほど！

# 世界大恐竜展

今から百数十年前。アメリカ西部でティラノサウルスやトリケラトプス、ディプロドクスなどの大型恐竜が続々と発見された。そしてアメリカ標準の恐竜学が確立されていった。これらのアメリカ産恐竜は、今も図鑑や映画などの主役で、知名度抜群。今回の大恐竜展でもティラノサウルスの新標本「ジェーン」は目玉である。ティラノサウルスを英語でネット検索すると何と5千万件以上もヒットする。

では、アジアのティラノサウルスと呼ばれ、生息時代も大きさも同じ大型肉食恐竜タルボサウルスで検索すると？ たったの45万件。100分の1以下である。

「フー！ ぐやしいー」  
モンゴルで何体もの素晴らしいタルボサウルスを発掘してきた私としては、なんとしてもタルボサウルスを皆さんに見てほしい。そう決意して岡山理科大のタルボサウルス全身骨格を今回の展示に参加させた。組み上げたのは学生

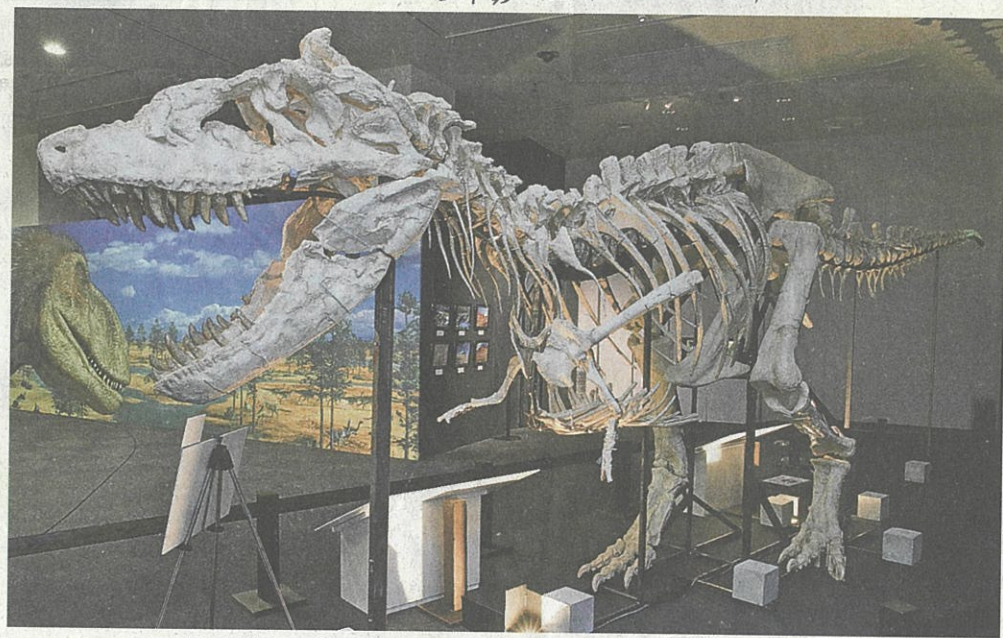
## ⑧ 頑張れタルボサウルス

### いつかは世界の主役へ

山陽 2019 08 24

たち。しかもプロ顔負けの出来栄え！  
アメリカのタルボサウルスと呼ぶ日が来るまで。

これからは、岡山発・アジア発の恐竜学を世界中に広めていくぞ。いつかみんながティラノサウルスのことを「ア  
頑張れタルボサウルス！  
フリーフレ！」  
(石垣忍 岡山理科大教授)  
おわり



岡山理科大の学生らが組み上げたタルボサウルスの全身骨格。大きな頭部やあご、鋭い歯はティラノに負けない迫力だ

「よみがえる地球の覇者！ 世界大恐竜展」(山陽新聞社など主催)は9月1日まで岡山市北区駅元町、岡山シテイミュージアムで開催。